

令和 4 年 7 月 26 日 議会改革特別委員会 議事録
10時00分 開会

○出席委員 (8 人)

委員長 網谷 芳孝

副委員長 西村 一啓

委員 藤川 和弘、原田 孝徳、小中真樹雄、小田上尚典、北地 範久、
日域 究

議長 賀屋 幸治

○欠席委員 なし

○傍聴者 細川 雅子、寺岡 公章、末広 天佑

○網谷委員長 皆さん、おはようございます。

定足数に達していますので、これより議会改革特別委員会を開会いたします。

それでは、日程第 1、前委員会（7 月 7 日）に正副委員長・議長へ、原田委員から提案を 3 点ほど伺っております。

南口の 1 階にあります電光掲示板に委員会の開催の掲載はできないのかと、2 点目に、次回委員会開催日をホームページに掲載できないのか、それによって一般市民の方が傍聴に来たりができるのではないのかということだろうと思います。それから、傍聴者への資料の配付ということで、3 点ほど伺っております。

正副委員長、また議長、事務局の方とも相談いたしまして、この 3 点、おおむね実行可能ではないかと話ができております。

実行できるということで皆さん御了承いただいたらと思います。それでよろしいでしょうかね。

原田さん、特によろしいでしょうか。

それじゃあ、そういうことにさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

2 点目の小田上委員の提案でございますが、日程第 2 のほうに入れたほうが話の流れからいってスムーズに行くのではないのかということで、日程 2 のほうに入れさせていただきます。日程第 2 に移らせていただきたいと思います。

それでは、第 2 回アンケート実施全議員（16 名）による意見交換の是非、皆さんで決めていただきたらと思うんですが。

小田上委員、どうぞ。

○小田上委員 おはようございます。

そうですね、実行したほうがいいのかと思ってます。前回、提案というかお願いもさせていただいて、次第でいけば、前回の議員のアンケートのところで、議員全員で意見を出すというような場があったと思うんですけど、公式な議事録として上がってきてるものがないんじゃないかなと。

記名でアンケートを書いていますし、全員が発言する機会を設けてしっかり議事録へ残す

と、どういう議論をしてきたのか、したのかというのを市民の方に分かってもらえるような形にするべきじゃないかなと思ってます。

以上です。

○網谷委員長 ありがとうございます。

全議員16名の方の意見交換会を実施することで、皆さんよろしいですかね。

それでは、16名の全議員の意見交換会を次回行いたいと思います。

意見交換の方法ですが、前委員会では委員会を開催宣言いたしまして、途中、休憩に入り休憩時の協議ということで。最初から委員会ということになりますと、委員外の方の発言の通告が必要になるということで、通告がなしとなりますと、休憩中がいいのではないかという結論に達しまして、休憩を宣言して休憩時の協議となりました。

ただ、それはよかったんですが、休憩時ということになりますとホームページのほうに載すということができなかったのも、委員外の皆さんの発言もホームページに載せるような方法はないかということで、皆さんで協議したいんですが、小田上委員、何かありましたらお願いします。

小田上委員。

○小田上委員 一番スムーズなのは、改革の中で委員長が委員外の方を呼んで発言を許すという形で開催できれば、それが一番簡単でスムーズかなと思ってて、それができないものかなと思ってました。委員長が委員外の方の発言を認めますといって招集することが無理なのかどうか、まず、ここの確認をさせていただきたいなと思います。それが本当に無理なのであれば、提案をしたいなと思うんですけど、それは難しいですかね。

○網谷委員長 議長、副委員長とも話をしたんですが、最初に浮かんだのが委員会に委員外議員の皆さんに出席をしていただくという出席依頼、来ていただきますようにということで、招致依頼。そういう依頼をしまして来ていただいた方に発言を委員長として許可をするという方法ではというのも、1個浮かんだんですが、その方法について局長、これは難しかったんですかいね。

局長。

○三上議会事務局長 やり方としてはできないことはないと思います。

ただ、残りの議員さんを全員呼ぶということが、多分法律上想定されてないと思います。通常委員会で議論をされて何人かの方に意見を聞きたいということで委員外議員の方を呼ばれるということはあるんだと思いますが、全員を呼んでそこで議論をするということは、多分委員会制度の中では想定されてないと思われます。

以上です。

○網谷委員長 ありがとうございます。

委員会としてはそういう事例はないということで、また規約にもないということなのでございますが、そのほか。

小田上委員。

○小田上委員 1人、2人がよくて全員が駄目みたいなのは、正直よく分からないです。

議会改革特別委員会の委員長が議長に議員全員協議会の依頼をかけてということであれ

ば、全文記録だったんじゃないかと把握してます。議員全員協議会の議事録を改革の資料として持って、議会改革特別委員会の中で議論が分かるような流れにしてほしいなというところで、議員全員協議会だったらいけるのかなと思ってるんですけど、それはいかがでしょうかね。

○網谷委員長 今、小田上委員が言われたように、議員全員協議会を開催をしてその中で議論をするということ、議員全員協議会ならホームページに全文も載るということなんで、ただホームページのあの項目の中には議会改革特別委員会という枠の中に入れるということもできるということ。

局長どうですかね。全協は全協のホームページの枠に入れなければならないのか。

局長。

○三上議会事務局長 協議会についてはホームページで公開しておりません。議員全員協議会の議事録については、申合せで公開するかは議長の判断によるということになっておりますので、議長のほうで議会改革特別委員会のページで公開するということになれば公開は可能と思います。

○網谷委員長 日域委員。

○日域委員 この特別委員会にほかの委員の方の参加を求めて、それがたまたま全員か否かで事が違うというのはあり得ないですから、局長の言ったことは間違いだと思います。

この委員会に皆さん来てもらってやったらいいじゃないですか。

アドバイスを受ける方ですけども、局長が言ったから駄目ですねという、そういうロジックはないですよ。

○網谷委員長 今までの通例の中でできればということで、ほかになればそういうこともあり得るのかなとも思いますが、まずは、小田上委員のほうから提案がございました、議員全員協議会で、議会改革特別委員会のほうのホームページに載せれば。

日域委員。

○日域委員 目的は皆さんに発言をしてもらってそれをホームページに載せようという、そういうことですか。

○網谷委員長 そうそうそう。

○日域委員 ホームページに載せることを特別に決めれば、別に載せてはいけないとかという決まりはどこにもないでしょうから、皆さん多数決か全員一致か知りませんが決めたならそれで終わりであって、そのことでまた協議すること自体がナンセンスなんです。

載せたのがいいばかりじゃないとは思いますが、議事録的なものを載せたいというんであれば載せると決めたらいいことで、これは議長の権限かそれは全員の協議の権限か知りませんが、どこにもやっちゃいけないと書いてないですよ。

そういう手続論で本来円滑に議論が進むようにルールが定めてあるわけですよ。その辺を理解しないと、こういう委員会、幾らやっても前へ進みませんよ。だから、前へ進めましょう。お願いします。

○網谷委員長 なるべくなら状態に介したやり方でできればというのが私の気持ちでございます。

議長。

○賀屋議長 1回目のアンケートのときに、議員全員協議会でやるかどうかという、同じ議論をやったんですが、あくまでも議会改革特別委員会の中での議論を残すべきだということで、残りの8人に来ていただいて、その記録については休憩中という形の中で発言をを進めてきたという経緯があるんで、これを今度議員全員協議会でやるということになれば、議会改革特別委員会でやる問題でなくなってしまうんで、議会改革特別委員会の立ち位置がどうなんかにいうことになるかと思うんです。それで行くんなら、最初から議員全員協議会でやりゃあええんじゃないかということになってしまうんで、あくまでも議会改革特別委員会の中で、この議論をして進めていくんだということで、さっき委員長の言われた残りの8名に出席依頼をして、それは御本人が出たくないと言や出なくてもいいと思うんですが、その中で皆さんで意見交換するということでもいいんじゃないかと思います。

以上です。

○網谷委員長 ありがとうございます。

原田委員。

○原田委員 今皆さんの意見を聞いてて、私は議長が言われたように、特別委員会主導でこの問題というのは議論していかなくちゃいけないということですから、アンケートについてをまず特別委員会の中で議論して、例えばどうしてもこれは聞いてみたいとかいうことがあれば、それを抽出して、その対象の方に来てもらい、意見を聞くとか、そういう方法もあるんじゃないかと思うんです。全員とかいうことではなくて、必要な方、議論の中でどうしてもこれは聞いておきたいという方のみになるかも分かりませんし、議論していく中で全員ということになるかも分かりませんが、あくまでもこれは議会改革特別委員会の主導で行うということであれば、この中で話をしてこの中で必要な議員を呼んで議論をするというやり方のほうが、一番この趣旨に合ってるのかなと思います。

以上です。

○網谷委員長 皆さんの意見がホームページに載って市民の方が目に通せるということが一番今議論の発端でございますので、全議事録がホームページに載せられ、委員会主導できたら一番ええので、先ほど言いましたように、出席依頼、招致依頼というような格好で来ていただいて、発言は自由にしていいただければというやり方で行えたら一番スムーズなはずです。

今の議論しとる中で一番気になっとるのがホームページに載せるか載せられないかという問題でございます。その辺、委員長権限でそういうことはできるんですかね。

はい、小田上委員。

○小田上委員 前回の話の流れが委員、参加した議員は分かってる。確認しようと思えば確認できます、議員は。でも市民の方は、最初のアンケートに何の話をしたんだっけというのは分からないわけですね。2回目のアンケートは、アンケートを募るときに、もう既に公開を前提に募ってるわけですね。アンケートが公開され、どういうふうに使われていったかという経緯は抜け落ちちゃ駄目だと思ったので、議事録に残らない部分があっちゃいけないなと思ったんです。委員長が改革の会を開いてる中で、ほかの議員さん呼んで

発言許しますというそれが通るんだったら、それが一番いいという話はしました。議会改革特別委員会開いてる中で議論ができれば、議事録は全て載るので、どう残すかみたいな話はしなくていいなと思います。

以上です。

○網谷委員長 ありがとうございます。

議事録はそのままホームページに載るとは限らないのですよね。ホームページには委員会の最初の挨拶の言葉と流れと、これから休憩に入りますというそこまでが載っとるんか。

小田上委員。

○小田上委員 委員長が言われてるのは、議会改革特別委員会として正式な議事録としては開催しました、休憩します、休憩中にこれがありましたというのが公開されてるよという話ですよね。記録としては全て残ってるということで、議会改革特別委員会を開催した議会改革特別委員会の中の議事録ではないと思うんですよ。休憩中のものは、正式なものではない、公開もされてないという認識だったんですけど。

○網谷委員長 そうですよ。

○小田上委員 それでいいんですか。

それでいいのであれば、休憩ということをせずに、委員長が招集されてほかの議員が話できれば、会議録は当たり前公開されると思うので、どうやって議事録に残しましょうか、議員全員協議会を開いていただいととかという提案をせずに済むなと思いました。

○網谷委員長 前回の2月7日の議事録ですか、それは、全部載っております、文字としてはね、調べれば、音声でも載とりまします。ただ、大竹議会改革特別委員会のホームページには、先ほど申しましたように、最初の挨拶の言葉と最後の締め言葉しか載ってないということを私は言ってるんですよ。前回は休憩中が主な協議会で、委員外の方の発言は一切載ってないということ、そこが小田上さんがそれではいけないということを追求められたんじゃないんですか。

ただ、私の言い方がちょっとおかしいかも分かりませんが、その辺のところは理解してください。

全部ホームページに載れば一番、その方法を今議論しとるところでございます。

○日域委員 休憩中の会話は正式じゃないやり取りですから、録音することがあってもそれが正式な記録として残ったりはしませんよね。参考にするにはあり得ますけどね。

この委員会で委員外発言ってあるじゃないですか、委員外発言というのは、いろんなパターンが、ルールが書いてありますけども、今回は、我々の身分に関わることで、ある種当事者なんですよ。16人が当事者なんですよ。たまたま8人の委員会でやっても、残りの8人のことも一緒にやってるわけですから、参加してくださいと。強制はできませんけども、そこで声かけて参加してくれれば、そこで意見を聞くなり議論をするなりやったら、この委員会の正式なやり取りですから、議事録に載りますよね。ぜひそういうふうにつなげてほしいと思います。お願いします。

○網谷委員長 先ほど小田上委員が言われたように、招致するのが2人ならいいんだが8人では困るとか、そういう問題では、どうしてかという意味になるんですよ。出席依頼と

か招致依頼とかどちらでもいいんですが、そういうふうにさせていただいて、載すようにすれば。

それじゃあ、皆さんの発言がホームページに載るようにやっていきたいと思います。出席依頼か招致依頼かは、これから我々正副委員長、議長で決めさせてもろてよろしいですかね。

協議内容は、第1回アンケートの意見交換と同じようになろうかと思いますので、スタイルが若干変わるかも分かりませんが、よろしくお願いします。

よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○網谷委員長 はいじゃあそういうふうに決めさせていただきます。

原田委員。

○原田委員 前委員会というのは休憩中に議論したようなことを、委員外の方も呼ばれて議論するということですかね。

ちょっと気になったのが、自由に議論という話だったと思うんですけど。

○網谷委員長 意見交換ですかね。

○原田委員 確認しときたいんですが、休憩中の議論は休憩中ですから皆さんでそういう議論していいと思うんですけど、議会改革特別委員会の中での議論ですから、委員外発言は別として、議論していく中で分からないことを聞くとか、全員が自由に発言できるとかいう意味じゃないですよ、休憩中のときのように。

○網谷委員長 いや、できますよ。休憩中のように私語は挟めませんが、普通の委員会と同じような発言はできると思いますよ。

○原田委員 ということは、16名全員がここに集まったときに、全員が同じような立場、同じような意見交換ができるということですか。議員全員協議会のような議論ができるということですか。

○網谷委員長 あとの8名の方の意見も聞きたいということで招致をしたいという意味です。強制ではありませんので、あくまでも依頼で、皆さんの参考のためにも意見を聞かせてくださいという、それが趣旨ですから。

○原田委員 議論の方法というのは、また、この後お話があるのか、今の話だと、招致なり16名集まったときに、休憩中のような議論をされるイメージを受けたので、議会改革特別委員会なので、話をしていく中で、例えば分からない、こういうところを聞いてみたいとかいうことを聞いたりとか、もしくは委員外発言とか、そういうふうなやり取りと私は思ってるんですけど、今の話を聞いてると、特別委員会なんだけど、皆さん自由に議論していいですよというのは、何かちょっと違うような気がしたので。

ニュアンスの違いだったらごめんなさい。

○網谷委員長 小田上委員。

○小田上委員 原田委員が言われてるのが、委員外の方も来られて16人になると、委員外の方が委員に対して質問をして、委員と全く同じ行動が取れるのかという意味だと思うんです。

僕は、意見交換をさせてくださいで、来てもらってるので、あなたの意見を教えてくださいばっかりは交換じゃないと思うんですよね。あなたの意見も教えてくださいと言われるのも交換だと思うので、意見交換をさせてくださいと言えば、お互いに質問しあって16人が話をするという立てつけは主催が改革なので、いいのかなと思ってますけど、その委員と委員外の発言の仕方が全く同じになるのが大丈夫なのかというところを心配されるのは原田委員だったと思います。僕は別に問題ないとは思いますが。

○網谷委員長 原田委員。

○原田委員 もう一つ確認させていただきたいのが、委員外の方同士の意見交換も、大丈夫ということでしょうか。

例えば委員外の方が委員外の方に質問がありますということでやり取りするということも、大丈夫ということですね。

○網谷委員長 もちろんですよ。

○原田委員 はい、分かりました。はい、理解できました。

○網谷委員長 ということで、出席依頼とか招致依頼とかいう形にし、あくまでも議会改革特別委員会の協議会というんか意見交換というのでさせていただきますので、よろしいでしょうか。

○小田上委員 特別委員会に協議会とか政策研究会はできないと思うんで、協議会って言葉のあやだだと思います。ただ、改革の中で招致していただけるという認識でおります。ありがとうございます。

○網谷委員長 ほかの委員の皆さんよろしいでしょうか。

それでは、次回、よろしくお願いします。

日程第2の、アンケート実施結果についての意見交換をさせていただきたいと思いますが、皆さん御意見がございましたら発言していただければと思うんですが、今回、16名全員の記名して意見を出されております。皆さん読んでおられるだろうと思いますが、何か思うことがございましたら発言していただければと思うんですが。

議長。

○賀屋議長 今の委員長の質問には、もう既に先ほどの第2回のアンケート実施結果による意見交換のやり方がどうあるべきかということについて議論をした結果、もう決まったと思ってるんですが、また、改めて意見交換を議題に話をするということになると、ほかの7人いますけど、その方にこの議論が伝わらない。同じ場面で議論を意見交換をしたほうがいいのではないかなと思いますんで、よろしくお願いします。

○網谷委員長 ありがとうございます。

前回も委員会で最初にちょっと皆さんの意見を聞いて、次に16名で意見交換をしたんですが、委員会の皆さんもダブるところがありますよね、それは、同じことをまた言うような感じになるんで、できれば今、議長が言われてましたように、今日はこれで一旦置いて正式に16名の意見交換をするという方法もございますが、そっちにしましょうか。今日はこれで。

小田上委員。

○小田上委員　そういう方法もあるんだろうと思います。ただ、16人がアンケート書いてますから、1人3分しゃべるだけでもかなりの時間になると思います。日程調整をしっかりしていただいて、なるべく早い、時間の取れるタイミングでやっていただかないと、16人全員が皆さん思いを持ってアンケート書かれてるわけですから、発言されたと仮定すると、それにやり取りがありますね、2倍、3倍になっていく。正直どうやって開催しようかという話を決めるのにももう40分ぐらいかかっちゃってる状況ですから、時間は必要だろうと思います。

正直なところ、ここで委員のメンバーがどういう思いで書いたのかというのは、今後の議論していく中の立場表明にもなるし、しておいてもいいのかなとは思ってました。今日、それぐらいはするのかなと思ってたんですけど、そこは委員長にお任せします。ただ、このアンケートを今後どう使っていくつもりなのか、方向を持って委員外の方に来ていただくのと、アンケートの活用度合いが変わってくると思うんです。委員会の中では共通の認識で、このアンケートの取り扱いを決めておいてもいいのかなとは思いました。

以上です。

○網谷委員長　今、小田上委員のほうからちょっとヒントのようなものを言われたんですがね、確かに、皆さんの意思の表示が分かるとるわけでございますよね。それを少しこの人はどういうふうでこう考えられたのかなというような疑問点もまた出るのかなと思いますので、今日は皆さんの御意見をね。

原田委員。

○原田委員　次に意見交換をするというのは、我々が結論を出す上において、その必要性があつての意見交換で、それを踏まえて、改めて議論するというような方向と思ってるんですけど、それでよろしいですかね。

○網谷委員長　はい、よろしいですよ。

9月には最終結論という目標に向かつての、アンケートもその一つの流れということで解釈していただければと思います。アンケートの中で皆さん、これは聞いてみたいというところがあれば、発言していただければと思うんですが。

小田上委員。

○小田上委員　確認なんですけど、このアンケートっていつホームページに公開されるんですか。まずその疑問があるのと、次回意見交換のときに、議会改革特別委員会のメンバーとして確認しておかないといけないと思ったのが、意見書かれてる中で、そこに議論が達してないとの意見がすごく多いんですよ。半分は極端だけど2減はいいよねという、その感覚ってどこから来るんですかねという話も何となく分かりますよ。頭では分かるし半減と言ってる意味も分かるけど、自分に腑に落ちてないと市民の方に説明できないですから、そういうところまでに達せてないとか、改革の中でこの議論が足りなかったよねというのを委員外の方に出してもらう機会にしないといけないのかなと、このアンケートを見て思いました。

感想としては以上です。

1点目のところ、整理をお願いします。

○網谷委員長 要するに、何人減とかいう、理由づけというような格好ですかね。この議論は今までもありましたよね。最終的には皆さんは体感的にそう感じたからという結果論になったような気がするんです。

小田上委員。

○小田上委員 議会改革特別委員会でこういう話をもっとしたほうがよかったとか、ここが片づいてなかったよねという課題を出す場に、なったらいいなと思ったというだけです。

1 点目というのは、ホームページの公開のところ、確認をお願いします。

○網谷委員長 これは、今朝、議長とも話ししたんですがね、ホームページにいつ載すかということなんですよ。今、小田上委員が言われたんで、先、そちらのほうに話題をしたいと思います。

先ほど原田委員の質問の中で、ホームページに載せるには差し支えないということなんで、時期的にはどういうふうにすればいいのか、皆さんの意見を聞かせていただければと思うんですが。

完全に結果が出てから載すのか、次回、16人全議員がもう一度意見交換を行うことが決まっておりますんで、その後に載すのか、その辺のところを皆さんどう思われてか。

小中委員。

○小中委員 もう出てるんで、できるだけ早急に載せればいいと思います。アンケートはアンケートで、それを基にどういう議論をしたかというのは、それはまた別の話であって、出せるときに速やかに載せればいい。

○網谷委員長 すぐにでも載せればいいと、文書はもう変わらんですから、という意味ですね。

皆さん、それでよろしいですかね。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○網谷委員長 はいじゃあ、そういう手続に入ります。

日域委員。

○日域委員 皆さんの意見交換なり質疑応答なりって非常に面白そうな気がしますけども、例えば16人が全員参加してくれてそれぞれが自分の意見をアンケートという形で表明してるわけですよね。もちろん時間制限要ると思いますけども、10分しても1時間で6人しかできませんから3時間ぐらいかかりますよね。どっちが正しいという理屈はないですから、今回見ても、無投票だったから下げようという理屈は当然それはありでしょうけども、でもその理屈はおかしいというのも確かにおかしいちゃあおかしいんですよ。ある意味、議論をしても答えは出ませんよ。出るものもあるかもしれんけども、水かけ論的に終わってしまう要素も多分にありますからね。ましてや市の政策的なものでもないですから、議会の中の一つの数字ですからね。だから、結局は皆さんで多数決で変えないなら変えない、増やすなり減すなりするんならそれでその案に賛成多数があれば変わってしまうわけですね。何かどっちが正しいっていう話ではないということではありますね。そこ気をつけておかないと、面白くないですからね、そこは委員長がしっかり含んで進めてほしいと思います。お願いします。

○網谷委員長 ありがとうございます。

皆さん16名の方、それぞれ精いっぱい考えてアンケート書いていただいたんですから、そりゃ一人一人尊重するのは当たり前のことでございますので、その辺のところは皆さんもお分かりだと思いますので、よろしくお願いいたします。

今小田上委員からなぜ2名、なぜ現状維持なのかということ。

どうぞ、小田上委員。

○小田上委員 正直、今回どういう結論が出ようと、定数とか議員の在り方については考えていけないといけないんじゃないかと個人的に思ってます。なので、どういうところが課題であってどう向き合っていないといけないのかというのは、多分大きくは変わらないと思うんですよね。それを見つけることにもつながるかなと思うので、議論が足りなかったところ、できてなかったところは、箇条書きでもいいんで、そういうようなものが委員外の方とかと意見交換をする中で見つけられればいいなと。

さっき2なら半分ならとか言ったのは例えて申し上げただけなので、そういうところの議論をもっとしとけばよかったねとか、触れられなかったところを見つける機会にしたらどうかという提案です。

○網谷委員長 時間の分は考えずにしっかり発言していただければと思います。

長々と持論を述べられても困るんですが、皆さんの常識の範囲で意見交換ができればと私は思っております。

ほかに意見が、どうですかね。

議長。

○賀屋議長 やり方の一つとして、一人一人の意見を聞く、アンケートの中身について説明を受けるというよりも、この中身について理解しにくい、あるいは誤解をされとんじやないかというような点を、抽出してもらって、聞きたいことを事前にメールで送っていただければ、時間もそんなに費やさなくても意見交換できるのかなと思うんです。それぞれちゃんと意見として記述をされてますんで、これをしっかり読み込めば書かれた御本人の考えはある程度は理解できるんだらうと思うんです。その考えが違うとか合ってるとかというのは、個別な個人的な考えなんで、そこを強制的に変えさすとかいうこともできませんから、それは尊重していくべきだと思います。ただ、さっき言いました、ここは誤解をされとんじやないかと思うというような点があれば、そこを聞いてみるということで。一議員として責任を持ってこのアンケートに答えてますから、それ以上のものはないんであろうと思います。

ということで、次回の進め方については、さっき言いましたように一人一人が全部説明すると時間がかかりますんで、事前に聞きたいことはメールで起こしてくださいと、委員長から依頼をしてもらって、そういうふうにしたらスムーズに進むんじゃないかと思います。よろしくお願いいたします。

○網谷委員長 小田上委員。

○小田上委員 簡単に言うと、常任委員会の質問みたいなもんで、通告書を出せばいいという考え方と一緒にのかなと。これについてこう思うがどうかとか、どうですかとか、そん

な箇条書きにしたものを出して提出しておけば、事前にそのつもりでいてスムーズにできるんじゃないかということだと思います。なので、事前に質問事項が整理できてることはいいと思います。

ただ、付随で出てくるものもありますし、あまり事前の質問項目に縛られ過ぎないようにしてほしいですけど、整理しておくという点ではあってもいいのかなと思います。

○網谷委員長 ありがとうございます。

それは何々議員のこの文章に対しての通告書を出していただければということで、よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○網谷委員長 次回、全議員の意見交換は事務局のほうにメールで通告書を出していただくということで。

もちろん委員外の方も通知いたします。

通告書が出てないから駄目よというわけではございませんということを付き添えておきます。

ほかに何かございます。次回の意見交換に対しての気がついたところがあれば。委員会では最終的には決めなければいけない、それまでの工程として、あくまでも参考ということでもよろしく願いいたします。

ほかにあれば。

ないようでしたら、次回の全議員の意見交換会を決めさせていただいてよろしいですか。

次回は、盆までに1回行いたいと思うんですが、8、9、10ぐらいで行えればと思うんですが。

(発言する者あり)

○網谷委員長 9日の10時から決めさせていただきます。

それでは、以上で終わってよろしいですかね。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○網谷委員長 以上で、議会改革特別委員会を閉会といたします。

お疲れさまでした。

11時04分 閉会